

「環境にっこう」のページでは、市の環境に関する情報を発信しています。

くわしくは **食品ロス削減について…**

資源循環推進課 資源循環推進係 ☎0288-21-5138

**非常時対応型低炭素設備導入費補助金について…**

環境森林課 気候変動対策係 ☎0288-21-5152

**環境** KANKYO NIKKO

にっこう

No.58

## 食品ロスの削減

### ・新サービス「ごはんのわ」スタート

「ごはんのわ」とは、「本来食べられるのにもかかわらず廃棄されてしまう食品(食品ロス)」を、利用者が市内の協力店からお得に購入できるマッチングサービスです。積極的に利用し、食品ロスを削減しましょう。



「ごはんのわ」  
ホームページ

10月は「食品ロス削減月間」・  
10月30日は「食品ロス削減の日」

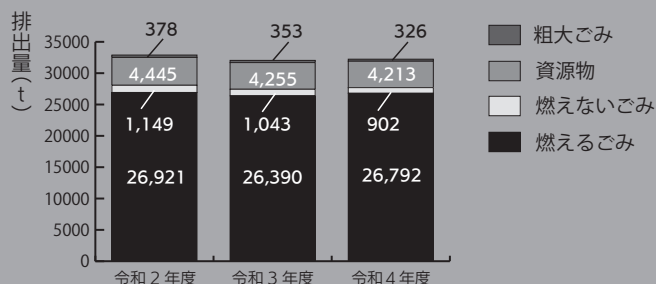
食べものを、大切に「使い切り」、おいしく「食べきり」、すっきり「水切り」の「3きり」で、  
ごみを減らしましょう！

### ・令和4年度のごみ排出量について

令和4年度のごみ排出量は、有料化等以前の平成29年度比で15.9%減少しました。

直近3年の推移をみると、コロナ禍が落ち着き、市内経済活動の回復とともに、主として事業系ごみが増加傾向にあり、令和4年度全体では微増となっています。

市は、食品ロスが多く発生しています。市民一人ひとりが食品ロスへの意識を高め、ごみ排出量を少しでも減らしていきましょう。



### 令和5年度非常時対応型低炭素設備導入費補助金

|      | ①電気自動車等   | ②電気自動車等充電システム(V2H)                                    | ③住宅用蓄電システム                     |
|------|---|---|--------------------------------|
| 対象設備 | 車両外部に電源を供給できる機能(AC100V)を有する、電気自動車(EV)またはプラグインハイブリッド自動車(PHV) | 住宅と電気自動車などを接続することにより、電気の融通が可能となる太陽光発電システムと連携可能な充電システム | 太陽光発電システムが設置されている住宅用リチウムイオン蓄電池 |
|      |   |   |                                |
| 対象者  | 市内に住所を有し、市税および公共料金を滞納していない個人                                |   |                                |
|      | 自ら使用するために新たに購入した方   | 自ら居住する住宅に設置した方(設備が設置された住宅を自ら居住するために購入した方を含む)          |                                |
| 補助金額 | 一律15万円  |   | 1kWhあたり3万円(上限15万円)             |
| 申請方法 | 対象設備を購入・設置した日から90日以内に、申請書類を環境森林課へ持参または郵送(事後申請)              |   |                                |

**電気自動車等・住宅用蓄電システム補助金の紹介**

市は、地球温暖化の防止および災害に強いまちづくりの推進を図ることを目的に、非常時に対応できる電気自動車・電気自動車等充電システム、住宅用蓄電システムへの補助を行っています。

# 地域おこし 協力隊通信

第84回



今月のリポーター  
三依地区担当  
地域おこし協力隊  
たけしま たかし  
竹嶋 聖 隊員

くわしくは 地域振興課

地域政策係 ☎0288(21)5147

## 三依地区ってこんなところ

三依地区の一番の魅力と言えば、関東随一の水質を誇る河川や、栃木百名山にも名を連ねる山々などの豊かな自然です。言つまでもなく、渓流釣りやアウトドアを楽しむのには最高の場所です。

渓流釣りは、餌釣りやフライフィッシング、ルアーフィッシングなどがありますが、三依と言えば「テンカラ」は外せません。なぜなら、日本初の「テンカラ専用（㊦㊧区間（キャッチ&リリースの釣り場）」があるからです。全長4キロに及ぶ（㊦㊧区間は、初心者から上級者まで楽しむことができます。

また、テンカラ専用区は林道が整備



川底まで澄み切った水が流れる男鹿川おじかがわ



テンカラ専用区間  
入り口にて

されているので歩きやすく、散歩するだけでもリフレッシュできます。

このほか、アユ釣りも人気で、毎年多くのアユ釣りが訪れます。三依のきれいな水で成長したアユは絶品で、香りが良いといわれています。

さらに、三依ではさまざまな動物にも出会えます。カモシカ、アナグマなどの野生動物や、アオゲラ、クマタカなどの珍しい鳥を見ることが出来ます。アカシヨウビンやセグロカッコウなど、なかなか見ることができない貴重な鳥を探しに訪れる人もいます。



## 暮らしてみた感想

暑がりの私でも夏は過ごしやすですが、冬の寒さと雪にはいろいろと苦労がありました。

寒さで車のバッテリーが上がってしまったり、水道が凍結してしまったり、慣れない雪かきに苦戦したり、凍結した路面に油断して、おととつ…なんでもありました。

## 協力隊としての活動状況

初年度から現在まで、活動の主軸として鳥獣被害防止活動を行っています。

今年の7

月には、私の活動に興味を示してくれた栃木県土地改良事業団体連合会の研修会に講師として参加し、鳥獣被害防止活動のほか、協力隊として働くきっかけや、三依の魅力あふれる自然について話をしました。



研修会での竹嶋隊員

今年度で退任となりますが、活動終了後も三依での生活を予定していますので、退任までの残りの期間で住む場所や仕事を考えていくつもりです。

## その他の活動

協力隊活動のほかに、地域活動の幅を広げました。

猟友会では、有害鳥獣捕獲などを行っています。おじか・きぬ漁協では、放流や魚のすみかづくりなどの増殖活動を行い、地域資源を守る活動をしています。消防団では、災害時対策を学び、有事に備えています。

最近では、地元有志で「三依を愛している会」を立ち上げました。今後も三依の未来を守りつないでいこうという思いで、活動していきたいと思っています。